

Labo News

らぼ ニュース

発行所 公益社団法人愛知県臨床検査技師会
 住所 名古屋市中村区名駅5-16-17
 花車ビル南館 〒450-0002
 電話 052-581-1013
 F A X 052-586-5680
 ホームページ <http://www.aichi-amt.or.jp/>
 Eメール aamt@aichi-amt.or.jp
 取引銀行 三菱東京UFJ銀行 柳橋支店
 普通口座 731-677
 発行人 梶山 広美
 編集人 山田 真

No.391 目次

- ◆検査説明・相談のできる臨床検査技師育成講習会を開催して……………(2)
- ◆愛知県基幹施設の活動について……………(4)
- ◆平成26年度
日臨技精度保証施設認証申請のお知らせ…(5)
- ◆地区だより……………(6)
- ◆学術部研究班行事予定(H26年度後期)…(7)
- ◆尾張北地区研修会……………(8)
- ◆基礎講座……………(8)
- ◆講演会・研究会……………(9)
- ◆全国「検査と健康展」実務委員募集…(10)

広報部活動について

広報部長 山田 真

広報部は担当副会長、部長、担当理事2名、ホームページ運営委員会委員4名で構成され、部長は「会報らぼニュース」、担当理事は「会誌らぼ」の発刊、ホームページ運営委員会は愛臨技ホームページの運営を担っています。

本年度は梶山会長のもと事業計画として1. 公益社団法人の運営基盤の確立。2. 臨床検査と臨床検査技師の質の向上。3. 各部門において3ヶ年事業計画立案し、各事業を推進するとされました。渉外部門は「組織強化」「成熟した組織の運営」「会員意識の向上」を3つの柱として中期目標、短期事業方針が立案されました。その方針に基づき広報部は今年度にホームページのリニューアル、「県民向けページの構築」、「学術研究班ホームページ構築」を目標に、また、広報誌に関しては「会誌等の発送方法」、「会誌らぼ内容」について検討してまいります。

愛臨技ホームページは昨年4月に大幅なりニューアルを行いました。本年度は公益社団法人として「県民の健康増進と衛生思想に関する普及活動」を啓発できるようなページ、さらには会員のためのページなども構築したいと考えております。学術研究班ホームページは先のリニューアルで入口は新しくなりましたが、その先は各研究班が独自に作成し運営していただいております。これを学術部、各研究班と協議しながら統一した書式で、技師会が責任の持てる内容で構築したいと考えています。

現在のホームページで「事務局からのお知らせ」、「行事・イベント写真集」は随時、緊急性や重要なお知らせはテロップで表示しております。また、「会報らぼニュースPDF版」、「カレンダー表示」などは毎月1日に更新しております。ご意見等も「お問い合わせ」欄が用意されておりますので併せてご活用ください。

広報誌に関して、「会報らぼニュース」や「会誌らぼ」は紙面の構成やさらなる内容の充実を目指し今後検討してまいりたいと考えております。

最後に、本年度から担当理事やホームページ運営委員会委員の一部が入れ替わり新たな気持ちで2年間勤めますので、今後とも会員皆様のご理解とご支援頂きますようよろしくお願い申し上げます。

検査説明・相談のできる臨床検査技師育成講習会を開催して

副会長 所 嘉朗

講習会は平成26年8月30日(土)と31日(日)の両日、名古屋大学医学部附属病院中央診療棟3階講堂で114名の受講生を迎え開催されました。以下に報告します。

講習会開催の趣旨である「なぜ今臨床検査技師が検査説明・相談に取り組まなくてはならないのか」については松本日臨技副会長より解説していただきました。引き続き管理者の立場から臨床検査技師に期待するものと題し名古屋医療センターの直江院長からお話しいただきました。その後は検査説明・相談に必要である基礎的なスキルが習得できるようなプログラムが組まれていました。患者に対する接し方については愛知医科大学病院



看護部の柴主任、患者心理については元中部労災病院の臨床心理士の小林先生、接遇の基礎についてはC-planの清水先生からお話しいただきました。先駆的に検査説明・相談を実施している施設からの報告として、全国で初めて育成講習会を開催した長野県から飯田市立病院の實原臨床検査科長にその経緯の説明と現在取り組んでいる現状について、愛知医科大学病院の岸技師長からは臨床検査相談室について、岡崎市民病院の夏目室長補佐からは糖尿病療養指導の実例、石川県の公立松任中央病院の高島先生にはチーム医療の講義をしていただきました。検査説明のロールプレイは岩手医科大学の諏訪部教授に、R-CPCは信州大学医学部附属病院の本田教授に講義していただきました。充実した内容であり二日間の講義が各施設の取組みの一助あるいは参加された各会員の今後の方向性の参考になれば幸甚です。

運営にあたっては不備等があったと思いますが、皆様からのご意見を賜り来年度に活かしていきたいと思っております。最後にお忙しい中講師を快くお引き受けいただいた先生方、準備段階からご協力いただきました企画委員および当日の実務を担当していただきました委員の皆様にあつく御礼申し上げます。

検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会に参加して

豊川市民病院臨床検査科 滝野 好美

以前、「検査説明」を当院でも取り組んだ事がありました。コンセプトが曖昧で頓挫した事がありましたので、具体的に日臨技がどう取り組んでいくのか興味があり参加しました。実際に経験を積まれている愛知医大の取り組みには成程と思う事がたくさん有り大変参考になりました。検査室だけで取り組むのではなく、やはりチーム医療の一員として周りの協力を得ながら築き上げていくことが成功への近道だということが解りました。しかし、他職種からみて“臨床検査技師は検査室内に籠っているイメージが強い”と改めて言われるとまだまだ足りてない

事が多いのだと反省させられました。検査の結果説明は臨床検査を扱うプロフェッショナルとしては是非とも積極的に取り組むべきだと思いますが、本田教授も仰られたとおりR-CPCなどを通じてもっとも経験を積んでいかなければ信頼を勝ち得ることはできないと思いました。経験を積んでくると専門性を高めたい欲求が強くなりがちですが、あらゆる方面の知識を身につけて改めて自分の立ち位置を見直すことも重要と感じました。

取りあえず職場に戻り、白衣の胸ポケットにボールペンを差すのを止めました。



検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会に参加して

8月30日31日に開催された「検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会」に参加いたしました。最初に日臨技副会長より、本来「採血、検査説明については医師等の指示の下に看護師や臨床検査技師が行なうことができる」とされていますが、ほとんどの施設で行なわれていません。「検査説明・相談」を行なうことはチーム医療の一員として専門性を発揮するのみでなく、医師・看護師不足の手助けになるとともに、臨床検査技師の知名度向上にもつながっていくという話を聞かせていただきました。現に職業を聞かれて臨床検査技師と名乗ったとき、「レントゲンを撮る人？」と聞かれることがあります。検査室という患者さんとの接触が少ない環境の中で、私たちの職業を理解されていない方が多い証拠です。その後病院経営の立場として臨床検査技師に何を期待しているかを伺い、さらには検査説明・相談をするにあたり、患者さんとのコミュニケーション能力・接遇が大切であり、接遇やクレーム対応についての講義も受けることができました。講義では患者さんの立場に立ち、採血や生理検査を受ける時どう感じるかを考えていきました。すると待ち時間

中部ろうさい病院 玉木 将也

や検査に対する不安を持った患者さんに対して、今まで自分が患者さんの感情をあまり考えずに検査を行っていたことに気づきました。患者さんの表情や声色から読み取れる情報はたくさんあります。その中でどんな声掛けや対応が必要なのか考えることができました。接遇に関する講義は採血・生理検査業務を行っている自分にとって実践できる内容が多く、すぐにでも実践していきたいと思っています。2日目は検査説明・相談業務について、実際に行っている施設の取り組みについて紹介していただきました。実際には直接患者さんが相談に見えることは少なく、各科の看護師さん等職場スタッフの紹介でお見えになるようです。各施設の取り組みを聞いている中で、自分の施設では今何ができるかを考えることができました。2日間の講習を終え、今できることは患者さんと接する時に、質問された内容について丁寧に答えることだと思いました。そしてどこで検査説明・相談をするのか、どこまで臨床検査技師が検査説明・相談をしていいかなど院内で検討できればいいと思い、まず検査室内での伝達講習を行ない情報を共有したいと思います。

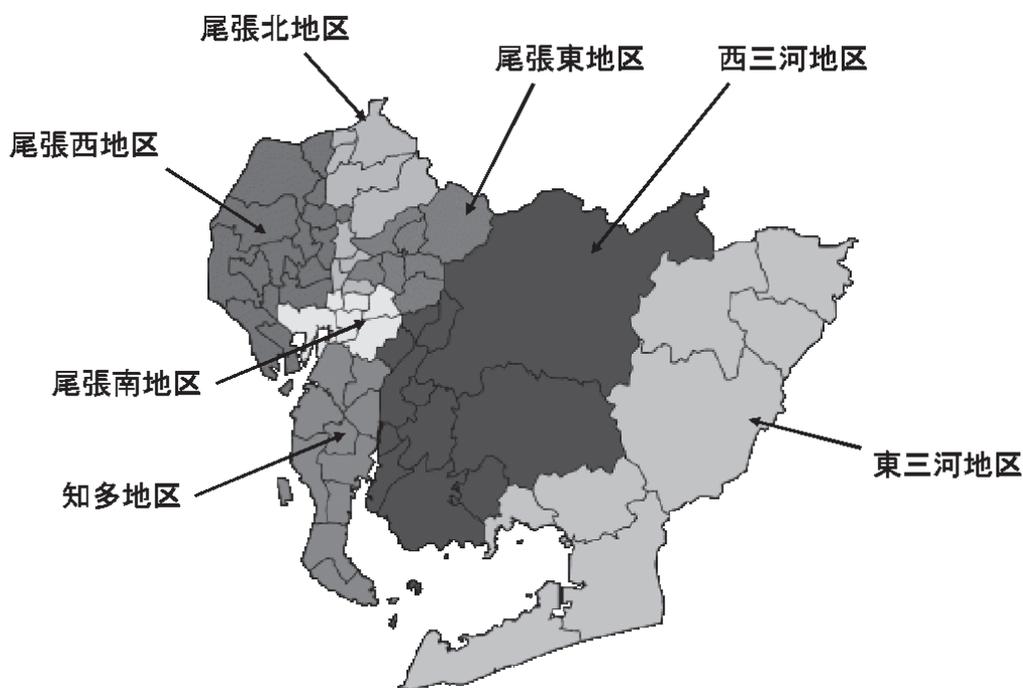


愛知県基幹施設の活動について

精度管理事業部長 鈴木 博子

愛知県基幹施設は平成16年に発足し、担当地区の施設の精度管理を中心としたサポート活動を行っています。基幹施設は愛知県臨床検査精度管理調査の結果検討会への出席や、精度管理に関すること、日頃疑問に思っていること、困っていることなど、さまざまな問題点への解決に向けたサポートをしています。また、精度管理で問題のあった施設に試料を提供しデータの正確さを確認するなど技術的支援を行っています。現在、愛知県下では各地区に1施設、合計7施設の基幹施設があります。皆様の地区の身近な相談役としてどんな些細なことでも結構ですので、是非ご利用いただきたいと存じます。

地 区	基幹施設	担 当 者	電 話
尾張西地区	名古屋掖済会病院	堀田 裕美	052-652-7711
尾張北地区	名古屋大学医学部附属病院	松山 浩之	052-744-2588
尾張東地区	愛知医科大学病院	平井 信弘	0561-62-3311
尾張南地区	名古屋市立大学病院	大橋 実	052-858-7307
知 多地区	東海市民病院	山内 昭浩	052-603-2271
西三河地区	藤田保健衛生大学病院	藤田 孝	0562-93-2305
東三河地区	豊橋市民病院	内田 一豊	0532-33-6111



平成26年度 日臨技精度保証施設認証申請のお知らせ

I. 申請期間：10月1日(水)～11月28日(金)

- 日臨技審査：
平成26年12月1日(月)～平成27年1月17日(土)
- 理事会（または執行理事会）審議、承認：
平成27年1月下旬～2月上旬
- 承認通知、認証料請求書発送：
平成27年2月上旬～中旬
- 認証書発送：平成27年3月下旬

II. 申請手順

1. 申請書類は、日臨技HPの『『精度保証施設認証制度』の申請書類』欄よりダウンロードしてください。
2. 申請書（様式1）に必要事項を記入し、申請書式（様式2～6）に資料を揃えて、日臨技へ郵送してください。
3. 日臨技精度管理調査結果「適」書（様式2-1の代用書）は、精度管理調査システム（JAMTQC）からダウンロード可能です。

4. 測定原理・基準範囲・単位一覧表（様式3）は、3. と同時にダウンロード可能です。
5. 内部精度管理基本統計一覧表（様式4）は、JAMTQCに入力済みの場合、3. と同時にダウンロード可能です。
6. 都道府県精度管理調査をJAMTQCを使用して実施している場合、都道府県精度管理調査結果「適」書（様式2-2の代用書）は、JAMTQCからダウンロード可能です。

III. 申請書類送付先

〒143-0016 東京都大田区大森北4丁目10番7号
一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会
精度保証施設認証WG宛

IV. 申請費用

50,000円です。審査承認後、認証の合格通知と請求書が送付されます。

（書式等、詳細は日臨技HPをご確認ください）

お詫びと訂正

らぼニュース9月号で脱字がありました。お詫びし下記に訂正をお願いします。

2ページ、平成26・27年度 役員 推薦委員

正 尾張南地区：宮地 努
(労働者健康福祉機構中部災病院)

誤 尾張南地区：宮 努
(労働者健康福祉機構中部災病院)

お詫びして訂正いたします。

2014年9月10日現在 正会員数 28,489名

※求人情報、理事会・常務理事会議事録はホームページを御覧いただくか、事務所へお問合せください。

お知らせ

生涯教育点数が関係する行事に参加される方は、必ず会員証をお持ち下さい。

会員証をお忘れになった方は、自己申請して頂くことになります。

申請用紙は愛臨技HPの各種手続きにあります。

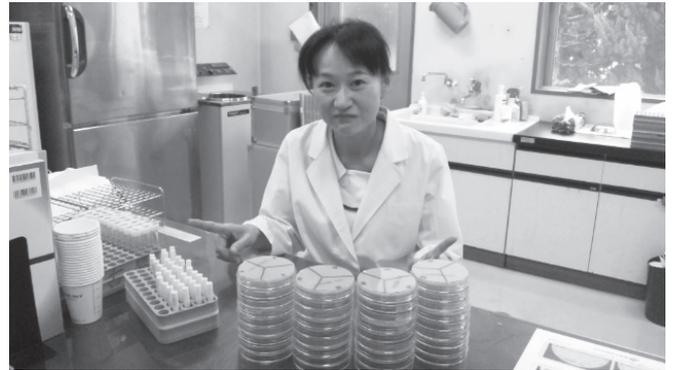




職場のメンバーは歯科医師、医師、放射線技師、看護師、准看護師、残りは資格はないのですが、衛生科隊員で、訓練として医務室の運営を手伝ってくれています。

たいていの方は、大学や専門学校で勉強されてから臨床検査技師の国家試験を受けられたと思います。私の場合は自衛隊に入隊し、その中で課程教育を受け、国家試験を受験しました。試験自体はもちろん皆さんと変わらないのですが、国家予算を使って3年間の教育を受けたというプレッシャーの中で受験するということが違います。

国家資格を取得して、自衛隊の中での勤務場所は①自衛隊病院、②駐屯地医務室、③一般部隊の3種類があり、私は現在、駐屯地医務室で勤務しています。通常、駐屯地には1名の臨床検査技師が配置されており、検査に関するすべてのことをやることになっています。病院ほどではありませんが、医師もいるので小さな診療所のような感じです。診療所機能にプラスして、隊員の採用に関わる身体検査、野



今の時期は検診で多忙です。

外炊事に関する菌検索、駐屯地内の環境衛生指導などもやっています。当直勤務にもつくので、対象は自衛隊員だけですが、それなりに忙しく過ごしています。

駐屯地医務室は国際貢献や大きな災害等が起きても自らが出動することはあまりなく、出動する隊員のサポートがメインになります。東日本大震災の時には一般部隊にいたので私も災害派遣で宮城県に行かせていただきました。検査技師としてそこでできることは当時はなかったのですが、自衛官として業務に従事し、支援に携わることができたのは貴重な経験でした。

もしもお知り合いで自衛隊に興味のある方がおられましたら、すでに資格を取得されていれば技官としての採用もありますし、これから資格を取得されたい方ならばとりあえず自衛官になることが前提となりますが、部内で勉強することもできます。詳しくは防衛省のホームページを参照して下さい。ただし、国家公務員なので転勤が多いことは覚悟しておいて下さい。



学術部研究班行事予定（H26年度後期）

	開催日時	担当研究班等	行事種別	テーマ	開催場所
10月	4日(土) 15:00～	輸血	研究会	自己血輸血を考える	愛知医科大学本館3階301講義室
	11日(土) 15:30～	一般	研究会	Q&A ～素朴な疑問にお答えします～	刈谷豊田総合病院
	18日(土) 15:00～	生理	研究会	脳波検査の基礎から臨床まで	名古屋市立大学医学研究科医学部研究棟11階A
	18日(土) 15:00～	血液	研究会	後天性血友病・凝固因子・インヒビター・LA関連検査	(株)カーク本社会議室
	19日(日) 10:00～	生化	基礎講座	心腎関連について考える	刈谷豊田総合病院
	19日(日) 9:30～	病理	基礎講座	「包埋・薄切」	名古屋大学保健学科
	26日(日) 9:00～	微生物	基礎講座	これであなたもStep up!!明日から使える同定検査	名古屋大学医学部基礎医学研究棟
11月	2日(日) 9:30～	一般	基礎講座	症例と尿沈渣	名古屋大学医学部基礎棟3F 第一講義室
	15日(土) 15:00～	生理	研究会	どんなレポートを書いていますか? [心エコー検査]	名古屋第二赤十字病院 研修ホール
	15日(土)	血液	講演会	血液検査技師からの臨床支援活動(仮)	名古屋大学医学部
	30日(日) 10:00～	遺伝子	講演会	染色体の数的異常と構造異常はなぜおこるのか?	愛知県がんセンター中央病院 国際交流センター
12月	6日(土) 14:30～	生化	講演会	薬物と検査	ウインクあいち
	13日(土) 15:00～	病理細胞	研究会	基本的な染色はどう染めるか? (HE・PAP・Giemsa)	未定
	13日(土) 15:00～	微生物	講演会	先人の知恵から学ぶ培地学講座	未定
	13日(土)	輸血	講演会	輸血検査室の再構築	名古屋市立大学医学部研究棟11階講義室A
	14日(日) 9:30～	生理	基礎講座	解剖から押さえよう! 腹部エコー	藤田保健衛生大学 生涯教育学習センター
	14日(日) 10:00～	一般	講演会	電解質と小児CKDの話	名古屋第二赤十字病院3病棟1階 研修ホール
1月	17日(土) 15:00～	生理	研究会	未定	名古屋市立大学医学研究科医学部研究棟11階A
	18日(日)	血液	基礎講座	未定	名古屋大学医学部
	18日(日) 10:00～	生殖	基礎講座	精子の染色・形態観察	藤田保健衛生大学 坂文種報徳會病院
	25日(日)	学術部		スキルアップ研修会	名古屋大学医学部基礎棟
2月	7日(土) 15:00～	生化	研究会	平成26年度精度管理調査報告会	未定
	7日(土) 15:30～	生殖	講演会	新しい出生前検査	藤田保健衛生大学 坂文種報徳會病院
	14日(土) 15:00～	病理細胞	講演会	未定	未定
	14日(土) 15:00～	一般	研究会	平成26年度精度管理調査報告会	だいでうクリニック4F講堂
	14日(土)	遺伝子	研究会	血液腫瘍の遺伝子染色体検査(仮題)	未定
	21日(土) 15:00～	生理	研究会	平成26年度精度管理調査報告会	名古屋市立大学医学研究科医学部研究棟11階B
	21日(土)	血液	研究会	平成26年度精度管理調査報告会	未定
3月	7日(土) 15:00～	微生物	研究会	平成26年度精度管理調査報告会	名城病院

★注意 開催日時・テーマ・開催場所は変更される場合があります。参加の際は事前にらぼニュースあるいは愛臨技ホームページでご確認下さい。

日臨技中部圏支部

開催日時	研修会	テーマ	会場
H26年10月4日・5日	病理細胞検査研修会	初心者からエキスパートまで子宮体部細胞診を極める! ER抗体を用いた免疫染色サーベイ	金沢大学付属病院 宝ホール・金沢大学医学部
H26年11月8日・9日	臨床微生物部門研修会	臨床微生物検査技師、その先へ ～他職種とのコミュニケーション力を磨く～	岐阜市：ホテルパーク
H26年12月13日・14日	臨床血液部門研修会	血液疾患 診断の道しるべ	岐阜大学医学部 記念会館 2階
H27年1月10日・11日	臨床一般部門研修会	高めよう知識、深めよう理解 ～世界遺産ふじの国から～	浜松医科大学
H27年1月24日・25日	生物化学分析検査研修会	疾患ガイドラインを理解しよう ～信頼される診療支援のために知っておくべきこと～	静岡市：静岡県男女共同参画センター「あざれあ」

尾張北地区研修会

専門教科：20点

日時：平成26年11月28日(金) 19:00～20:00

場所：(株)スズケン名古屋支店 2階会議室

テーマ：胃がんリスク検診（ABC分類）
－あなたの胃はどのタイプ？－

講師：栄研化学株式会社
マーケティング2部4課 課長

関根 和人

司会：小牧市民病院 臨床検査科 大野 則仁

内容：胃の検診で多く実施されているのは、バリウムを飲んでから行うX線撮影（胃透視検査）。撮影された胃壁の凹凸から胃の状態を推測する検査です。

上記方法とは別に、2種類の項目の血液検査を組み合わせることにより、胃の健康度を調べる事が可能です。

それは、ペプシノゲン検査とヘリコバクター・ピロリ抗体検査です。

研修会では、現在の検診受診の現状から胃がん病態について、そして早期発見に役立つ上記検査法などについて紹介していただきます。

技師の方はもちろん一般の皆さんの参加もOKですので、お誘い合わせの上、気軽に参加して下さい。自分の胃のタイプを把握し、病気の早期発見に努めましょう。

基礎講座

生理検査研究班

専門教科：20点

日時：平成26年12月14日(日) 9:30～17:00

場所：藤田保健衛生大学 生涯教育学習センター

テーマ：解剖から押さえよう！腹部エコー

司会：(独) 地域医療機能推進機構中京病院
加藤 鮎美

1) 「腹部エコーに必要な解剖と基本画像」

講師：藤田保健衛生大学 刑部 恵介

2) 「ココは押さえよう！肝胆膵の見かた・考えかた」

講師：厚生連豊田厚生病院 永田 篤志
名古屋医療センター 水野 理恵

3) 「みんなで考えよう！腹部エコーの総復習」

講師：名古屋掖済会病院 佐々木玲子

内容：初心者の方を対象とした腹部エコー検査（肝・胆・膵・腎・脾）の講義・実習を開催します。今回は臓器別に解剖を踏まえた講義を行い、すぐに実習というスタイルで行います。機器1台につき6名程度の少人数で行います。初心者向けコースのみでの開催です。これから始めようという方は是非ご参加下さい。また、今回はランチョン講演として「ココは押さえよう！肝胆膵の見かた・考えかた」（軽食付き）も企画しております。

定員：72名（対象：初心者）

参加費：合計：5,000円
（ランチョン講演の軽食代含む）

申込方法：以下の項目を全て記入の上、メールにて下記のアドレスへ申し込みください。

1. 申込者名 2. 施設名 3. 会員番号 4. 施設住所 5. 連絡先E-mailアドレス（携帯メールは不可） 6. 腹部エコー経験年数

申し込み先：aichiseiri2014@yahoo.co.jp

1メール1名でお願いします。

（同一メールアドレスから申し込みは可）
申し込み開始は、11月1日(土)より

備考：申し込みの受領及び日程の詳細についてはE-mailでご連絡します（申込みが多数の場合、同施設での参加者数に制限をかけさせて頂く場合があります）。

愛臨技主催のため愛知県技師会員が優先されます。なお、空席があった場合には県外会員の申し込みを受付いたします。受付メールにて参加費振込み口座を連絡します。受付メール確認後、1週間以内に振り込んでください。

*振込み手数料は各自ご負担ください。
振込み後の参加費の返却はいたしません。但し、参加者の変更は可能です(要連絡)。

申込締切：平成26年11月18日

（定員になり次第締め切り）

連絡先：厚生連渥美病院 小笠原律子

TEL : 0531222131 (内線1404)
※15時～17時の間をお願いします

講演会

血液検査研究班

専門教科：20点

日時：平成26年11月15日(土) 15:00～17:00

場所：名古屋大学医学部第一講義室

テーマ：血液検査技師からの臨床支援活動

講師：福井県立病院検査室 清水 早苗

司会：愛知県がんセンター中央病院

田中 里枝

内容：平成25年度日本検査血液学会学術賞を受賞された演者に受賞論文「血液検査技師からの臨床支援活動～患者への骨髓・末梢血標本供覧によるチーム医療への参画～」についてお話いただきます。検査説明・相談ができる臨床検査技師という話にもつながっていく内容だと思われま
す。多数のご参加お待ちしております。

講演会

遺伝子染色体検査研究班

専門教科：20点

日時：平成26年11月30日(日) 10:00～12:00

場所：愛知県がんセンター中央病院

国際交流センター

テーマ：染色体の数的異常と構造異常はなぜおこ
るのか？

講師：

1. 「ヒトの卵で染色体の数的異常が加齢依存的に
増加するしくみ」

藤田保健衛生大学総合医科学研究所分子遺伝学
堤 真紀子

2. 「DNAの高次構造が染色体の構造異常を引き起
こす」

藤田保健衛生大学総合医科学研究所分子遺伝学
稲垣 秀人

司会：リッツメディカル株式会社

クリニカルラボラトリー 大橋 浩泰

内容：染色体の数的異常と構造異常は、疾患の
原因となり得ます。それらの発生は、特

定の個人に特殊ではなく、誰もが持っている生体内のメカニズムを介していま
す。今回、解明されてきた知見について、
解りやすく講演して頂きます。

研究会

生理検査研究班

専門教科：20点

日時：平成26年11月15日(土) 15:00～17:00

場所：名古屋第二赤十字病院 研修ホール

テーマ：どんなレポートを書いていますか？

「心エコー検査」

症例提示：1. 「僧帽弁逆流」

津島市民病院 山梶 恵美

2. 「大動脈弁狭窄」

半田市立半田病院 村雲 望

3. 「虚血性心疾患」

名古屋第二赤十字病院 石神 弘子

4. 「肺高血圧症」

名古屋大学医学部附属病院

加藤香緒里

内容：心エコー検査で、皆さんはどんなレポ
ートを書いていますか？ただ心機能評価の
ための計測で終わらず病態を臨床側に正
しく伝えるため、何を計測しレポートに
記載していくか皆さんと考えながら進め
ていきます。今回は、日頃遭遇しやすい
4つの疾患を提示します。ご自身の施設
の白紙の心エコー検査レポート用紙をご
持参ください。その用紙に記載しながら
この疾患にはどんな項目の計測が必要
か、どんなコメントを記載するかを考え
ていきたいと思えます。多数のご参加お
待ちしています。

全国「検査と健康展」実務委員募集

日時：平成26年11月16日(日) 10:00～15:00

場所：イオンモール熱田 1F イベントスペース

名古屋市熱田区六野一丁目2番11号 金山総合駅から南東に徒歩約15分

主催：公益社団法人愛知県臨床検査技師会

事業内容：①無料健康チェック

- ・体脂肪測定
- ・骨密度測定
- ・血管年齢

②健康相談

臨床医による健康相談
(独) 中部労災病院医師

③臨床検査紹介コーナー

- ・病理標本等の鏡検
- ・臨床検査技師業務紹介 (DVD)
- ・検査のひみつクイズコーナー
- ・子ども記念写真 (白衣姿) 撮影

④パンフレット配布



以上の事業内容に沿って広く愛臨技会員から実務委員を募集致します。

募集要項：20人程度、交通費及び食費支給、事前会議 (1回)

申込方法：①氏名 ②施設名 ③技師会会員番号 ④住所 ⑤電話番号 ⑥メールアドレス

以上を記入のうえ、下記メールアドレスへ送信又は郵送でも可

申込締切：平成26年10月25日

連絡先：〒460-0001 名古屋市中区三の丸4-1-1

国立病院機構 名古屋医療センター統括診療部臨床検査科

岩尾 文彦 (イワオ フミヒコ)

TEL：052-951-1111 FAX：052-951-0664

E-mail：kensaboss@nnh.hosp.go.jp